

## はじめに

本書を手にとってくださってありがとうございます。

本書は、日本に留学した学生のエピソードを軸に、社会の中で必要とされる「課題発見・解決能力」や「人間関係構築力」を養成する、キャリア形成支援教材です。主な対象は日本留学をしている／考えている学生ですが、将来グローバル社会で活躍したい日本人学生にも役立ちます。

はじめに、「キャリア形成」および「キャリア形成支援」とは何かについて、本教材を作成した私たちの考えをお伝えしたいと思います。まず、「人生のさまざまな局面において自らの人生を豊かなものにしていくこと」がキャリア形成であると考えます。その局面には、学生時代も含まれます。そして、キャリア形成支援とは、学生たちがキャリア形成を行っていく際の道しるべを自ら見つけていけるよう支援をすることだと考えています。どのような人生を豊かであると感じるかは、人によって異なります。そのため、進むべき道は、誰かに示されるものではなく、自らが発見していくものであるはずです。その発見を支援する手がかりとして、私たちは、留学によって異文化を体験し、さまざまな困難を乗り越えながら自らのキャリアを切り開いていった留学生たちのエピソードを教材化しました。体験を語ってくれたのは、日本に留学し、日本の大学や専門学校で学び、その後、さまざまなかたちで活躍している元外国人留学生たちです。

本書では、エピソードを読み、それをもとに学生同士がディスカッションすることを通して、さまざまな学びが得られます。特に、来日したばかりの学生にとって、留学中に難しい問題に直面しながら克服してきた先輩の存在を知ることが、大きな励みになることでしょう。また、これから留学することを考えている学生も、異文化の中で学び、キャリアを築いていくことに対する心構えが得られます。

そのような有用性を脇においても、一つ一つのエピソードは、読み物として、とても興味深いものです。私たちは、留学生のキャリア形成についてインタビュー調査を行う中で、多様な留学生の体験談に接してわくわくし、これはぜひ多くの人と共有したいと思い、教材に示したようなエピソードとしてまとめました。国境を越え、文化の壁を乗り越えたところに、どのような道が開けてくるのか、自分自身に引きつけて考えるよい機会になると思います。

本書に収められたエピソードに登場する先輩は、それぞれがキャリア形成のロールモデルとなり得る存在ですが、そのとおりまねたり同じ道をたどったりする必要はありません。一つ一つの経験を追体験し、自分ならどうするだろうかと考えることが、何よりの学びになります。その学びを通して、学生それぞれが、自分なりの道をさぐっていくことを期待しています。

## 目次

はじめに iii

日本に留学する／している学生の皆さんへ（本書のねらい） vi

日本人学生の皆さんへ（本書のねらい） vi

本書をお使いになる先生へ（本書の構成および特長） vii

本書の使い方 viii

### 第1部 日本の大学・学校で学ぶ

第1課 ..... 003

スピーチ：異文化を学ぶ意味 004

スピーチ：私の日本語・外国語学習の意味 006

第2課 ..... 009

日本語の勉強の工夫について後輩にアドバイスしたいこと 010

プレゼンテーション：自分の勉強法の紹介 013

第3課 ..... 015

日本語の壁を越える（ユリさんのエピソード） 016

ディスカッション：友だちになりたい人について話し合う 019

ロールプレイ：友だちになる 020

第4課 ..... 023

部活のカルチャーショック（プレムさんのエピソード） 024

ディスカッション：異文化間のコミュニケーションの仕方について話し合う 028

第5課 ..... 031

勉強の困難を乗り越える（ディンさんのエピソード） 032

ロールプレイ：先生に相談する 036

第6課 ..... 041

部活を通して日本文化を学ぶ（アリフさんのエピソード） 042

ロールプレイ：アルバイト先の上司に許可をもらう 046

### 第2部 将来のキャリアを考える

第7課 ..... 051

グローバル人材の資質（ドンさんのエピソード） 052

グローバル人材の資質（ベトさんのエピソード） 054

グローバル人材の資質チェック 058

第8課 ..... 061

母国の発展に立ち会う（バヤさんのエピソード） 062

キャリアプランの作成 066

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 第9課                         | 069 |
| キャリアアップを目指す（ロニさんのエピソード）     | 070 |
| 自己PRの方法                     | 074 |
| 第10課                        | 077 |
| 仕事と生活をマネジメントする（アインさんのエピソード） | 078 |
| ワーク・ライフ・バランスの実現             | 081 |
| <br><b>第3部 専門性を高める</b>      |     |
| 第11課                        | 085 |
| 研究者への道①②③（ジグソー・リーディング）      | 086 |
| 人間関係構築のための会話の話題と態度          | 094 |
| 第12課                        | 097 |
| グローバルな専門家になる（ラジさんへのインタビュー）  | 098 |
| 世界を広げるためのネットワーク形成           | 102 |
| 第13課                        | 105 |
| キャリアの種を育てる（リさんへのインタビュー）     | 106 |
| コミュニティ参加のための暗黙のルール          | 111 |
| <br><b>第4部 プロジェクト編</b>      |     |
| プロジェクト1 話し合い                | 115 |
| 1-1 話し合いのビデオを見て分析する・表現を学ぶ   | 116 |
| 1-2 話し合いを実践する・振り返る・報告する     | 119 |
| プロジェクト2 敬語表現                | 121 |
| 2-1 敬語の使い方を練習する             | 122 |
| 2-2 敬語観察ジャーナルを記録して報告する      | 125 |
| プロジェクト3 エピソードの紹介・司会進行       | 127 |
| 3-1 エピソードの内容紹介の発表をする        | 128 |
| 3-2 ディスカッションの司会進行をする        | 130 |
| プロジェクト4 インタビュー              | 131 |
| 4-1 インタビューのビデオを見て分析する       | 132 |
| 4-2 インタビューを計画する・実施する・発表する   | 138 |
| <br>あとがき                    | 144 |
| 参考文献                        | 146 |

## 日本に留学する／している学生の皆さんへ（本書のねらい）

本書の一番の目的は、留学前もしくは留学後早い段階からキャリア形成意識を持ち、留学生生活を有意義に過ごすための道しるべを見つけることです。一年後、五年後、十年後の自分がどうなっているか考えることを通して、今やっておくべきことを発見しましょう。また、本書では、自らのキャリアを切り開いていくために必要な、「課題発見・解決能力」「人間関係構築力」を養うことを目指します。そのために、読み物教材とタスク教材を用意しました。教材を通して、人生のさまざまな局面（ライフステージ）への心構えを養ったり、多様な働き方の選択肢を知ったりすることのほかに、日本社会や企業文化について知識を得ることもねらいとしています。

\* の付いている語句は、英語、中国語、ベトナム語の訳が付いた語彙リストがあります。

〈<https://www.bonjinsha.com/wp/careerplan>〉からダウンロードできます。

エピソード本文やタスクの会話の一部には、音声ファイルもあります。目と耳の両方で日本語の表現を確認してください。

## 日本人学生の皆さんへ（本書のねらい）

今後留学したり、将来グローバルに活躍したりする皆さんにとって、日本に留学した学生の異文化体験は、皆さん自身のキャリア形成の参考になるはずです。エピソードを読み、話し合う活動が、異文化環境で直面する困難への心構えや克服方法の模索に役立つことを願っています。また、海外留学は考えていないという学生にとっても、エピソードを通して、留学生の抱えている困難や留学生ならではの強みを知り、異なる文化背景を持つ人によりよい関係性を築く手がかりを得ることは、多文化共生社会に生きる上で必要なことであると思います。

## 本書をお使いになる先生へ（本書の構成および特長）

本書のエピソードは、留学初期、大学生生活、就職活動、就職後、大学院進学や研究活動といった、留学を軸としたゆるやかな時系列に並べてあります。すべてを通して扱う必要はなく、学生の状況や目的に合わせて、教材をお選びいただけます。

エピソードは、文科系・理科系双方の留学生を扱っており、専攻もさまざまな分野にわたっています。それぞれ個別の事例でありながら普遍性を持っており、専攻分野が違っていても、キャリア形成に役立つ考え方や取り組み姿勢を学ぶことができます。

本書には、エピソードを中心とした＜読み物教材＞のほかに、日本語による表現力を磨き、人間関係構築力を養成するための＜コミュニケーションタスク＞、キャリア形成に関するイメージを描き、課題発見・解決能力を磨くための＜キャリアタスク＞、より高度な社会的人材となるための＜ソーシャルタスク＞が用意されています。読み物教材とタスクとはゆるやかにつながっていますが、切り離して、別々に扱っていただくことも可能です。また、別途、プロジェクト編も用意しました。

教材は、日本語習得の途上にある留学生に配慮して、中級前半修了程度の理解しやすい表現での記述を心がけました。読み方でつまづかないよう、漢字語彙にはセクション（EPISODE、TASK）ごとにルビを振りしました。セクションごとに初出の漢字にルビをふったのは、エピソードだけ、タスクだけを独立して扱った場合でも、また、各課を順番にではなく、ランダムに扱った場合でも困らないようにするためです。また、語彙についても同様に、どの課から始めても困らないよう、課ごとに語彙リストを作成し英語、中国語、ベトナム語訳を付しています。語彙リストに載せる語彙の選定は、「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」に出てくる語彙を出現頻度により分類した「日本語テキスト語彙分析器 J-LEX」（菅長陽一・松下達彦（2013）<http://www17408ui.sakura.ne.jp/execut.php> 2022.8.1 判定）を用い、頻度 3000 位（日本語レベル中級前半）以降のものとししました。

タスク実施の際にお使いいただく映像資料や配布用のタスクシート、よりよい教室活動のための「教師用ヒント集（解答例付き）」を用意しました。凡人社ウェブページより入手いただけますので、ぜひご活用ください。

学習者のニーズや授業の教育現場で使える総時間数は異なると考えられます。以下の「本書の使い方」をご参照の上、適宜、＜読み物教材＞と＜タスク教材＞を選び、組み合わせてお使いください。＜読み物教材＞を、精読ではなく速読教材としてお使いいただければ、各課のタスクと組み合わせて 90 分で扱えます。時間に余裕があれば、タスクとプロジェクトを連動させ、発展的な活動を行うことも可能です。

## 本書の使い方

本書は、4部構成となっています。

第1部「日本の大学・学校で学ぶ」（読み物とコミュニケーションタスク）第1課～第6課

第2部「将来のキャリアを考える」（読み物とキャリアタスク）第7課～第10課

第3部「専門性を高める」（読み物とソーシャルタスク）第11課～第13課

第4部「プロジェクト編」1～4

読み物はすべて留学経験者の実際の体験に基づいたものです。第1部と第2部はできるだけ全部扱っていただきたいと思います。第3部と第4部については、学生のニーズに合わせて選択してお使いください。それぞれの課のとびらに、読み物（EPISODE）を読む前の問いやプロジェクト（PROJECT）のねらいなどがあります。

本書を構成する各教材のねらいは、以下のとおりです。

|                                    |   |                                                  |
|------------------------------------|---|--------------------------------------------------|
| 読み物<br>EPISODE                     | → | エピソードを読み（速読）、話し合う活動を通して、自分に引きつけて考え、課題発見・解決能力を育てる |
| コミュニケーションタスク<br>COMMUNICATION TASK | → | 日本語による表現力とコミュニケーションスキルを高め、人間関係構築力を育てる            |
| キャリアタスク<br>CAREER TASK             | → | 自分の強みと弱みを客観的に把握し、理想の将来像を思い描くことで、取り組むべき課題を発見する    |
| ソーシャルタスク<br>SOCIAL TASK            | → | 人間関係構築、ネットワーク作り、コミュニティへの参加等の土台となる社会性を育てる         |
| プロジェクト<br>PROJECT                  | → | 話し合い、敬語表現、発表・司会進行、インタビューに関する知識・技能・主体的態度を身に付ける    |

本書の名課の概要を以下に述べます。

## 第 1 部 日本の大学・学校で学ぶ（日本語中級～上級レベル）

|       | エピソード                          | コミュニケーションタスク                                |
|-------|--------------------------------|---------------------------------------------|
| 第 1 課 | スピーチ：異文化を学ぶ意味                  | スピーチ：私の日本語・外国語学習の意味                         |
| 第 2 課 | 日本語の勉強の工夫について<br>後輩にアドバイスしたいこと | プレゼンテーション：自分の勉強法の紹介                         |
| 第 3 課 | 日本語の壁を越える<br>(ユリさんのエピソード)      | ディスカッション：友だちになりたい人について話し合う<br>ロールプレイ：友だちになる |
| 第 4 課 | 部活のカルチャーショック<br>(プレムさんのエピソード)  | ディスカッション：異文化間のコミュニケーションの仕方について話し合う          |
| 第 5 課 | 勉強の困難を乗り越える<br>(ディンさんのエピソード)   | ロールプレイ：先生に相談する                              |
| 第 6 課 | 部活を通して日本文化を学ぶ<br>(アリフさんのエピソード) | ロールプレイ：アルバイト先の上司に許可をもらう                     |

第 1 部は、主に、来日したばかりの留学生や、これから留学することを考えている学生のためのものです。留学先で直面するさまざまな困難やそれらをどのように乗り越えたかというエピソードが中心になっています。エピソードは、あくまでも個人の体験および考えに基づいたものです。そのため、授業では過剰な一般化を避け、こうあるべきだと単純にとらえることがないようにご注意ください。

読み物教材は、精読ではなく、速読教材として使えるように作りました。速読して内容を大まかにつかんだら、それを土台に話し合い、エピソードの内容を自分自身に引きつけて、自分ならどうするか考えることをねらいとしています。

コミュニケーションタスクは、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイとバラエティに富んでおり、日本語の表現力を磨くことに役立ちます。単なる技能練習ではなく、エピソードと話し合いを通して得られる気づきを土台に、実際の場面で、自分ならどのように振る舞うかを考えながら練習することで、主に「人間関係構築力」を養成するものです。

## 第2部 将来のキャリアを考える（日本語中上級～上級レベル）

|      | エピソード                                      | キャリアタスク         |
|------|--------------------------------------------|-----------------|
| 第7課  | グローバル人材の資質<br>(ドンさんのエピソード)<br>(ベトさんのエピソード) | グローバル人材の資質チェック  |
| 第8課  | 母国の発展に立ち会う<br>(バヤさんのエピソード)                 | キャリアプランの作成      |
| 第9課  | キャリアアップを目指す<br>(ロニさんのエピソード)                | 自己PRの方法         |
| 第10課 | 仕事と生活をマネジメントする<br>(アインさんのエピソード)            | ワーク・ライフ・バランスの実現 |

第2部では、大学卒業後のさまざまな働き方についてのエピソードを扱っています。一つの職にとどまってキャリアアップしている人もいれば、転職を重ねる人もおり、起業した人や、子育てをしながら仕事をしている人もいます。読み物を通して、さまざまな仕事のかたちや取り組み方に触れることができます。留学して間もない学生や、大学に入学したばかりの学生にとって、卒業後の自分の姿はまだ想像しにくいものかもしれません。しかし、エピソードを読み、留学経験者のたどった道を追体験することによって、自分自身の将来像は描きやすくなります。将来のイメージが漠然とでもつかめたら、今の段階で何をしておくべきかを考えはじめることができます。将来、「あのときこうしておけばよかった」という後悔をしないために、今できること、やるべきことを具体的に考えるきっかけにしてほしいと思います。

同時に、将来を見据えて今やるべきことを考え、課題発見・解決能力を磨くためのキャリアタスクに取り組んでもらいます。具体的には、グローバル人材の資質という観点から自分の強みや弱みを知ること、キャリアプランの作成、効果的な自己PRの練習、ワーク・ライフ・バランスの検討に取り組みます。

### 第3部 専門性を高める（日本語上級レベル）

|      | エピソード                          | ソーシャルタスク           |
|------|--------------------------------|--------------------|
| 第11課 | 研究者への道①②③<br>(ジグソー・リーディング)     | 人間関係構築のための会話の話題と態度 |
| 第12課 | グローバルな専門家になる<br>(ラジさんへのインタビュー) | 世界を広げるためのネットワーク形成  |
| 第13課 | キャリアの種を育てる<br>(りさんへのインタビュー)    | コミュニティ参加のための暗黙のルール |

第3部では、研究者や医者など、非常に高い専門性を持った留学経験者のエピソードを扱っています。将来、大学院に進みたい学生や、自分の専門分野で将来像を描こうと考えている学生にとって参考になる事例です。

ソーシャルタスクは、日本でさまざまな人とよい人間関係を築き、留学生活を実りあるものにし、専門性を生かして活躍するために必要なことを考えるものです。例えば、上手なコミュニケーションの秘訣は、いわゆる話し方だけではなく、異文化理解に基づいた話題の選び方にあります。そのような観点から「人間関係構築力」を高め、社会で幅広く活躍できる人材となることをねらっています。

第3部の読み物は、専門性が高いため、語彙的に難しいところがあります。したがって、読み物は扱わず、タスクだけを使って活動していただいてもかまいません。

### 第4部 プロジェクト編（日本語中級～上級レベル）

|                              |                                                      |
|------------------------------|------------------------------------------------------|
| プロジェクト1<br>話し合い              | 1-1 話し合いのビデオを見て分析する・表現を学ぶ<br>1-2 話し合いを実践する・振り返る・報告する |
| プロジェクト2<br>敬語表現              | 2-1 敬語の使い方を練習する<br>2-2 敬語観察ジャーナルを記録して報告する            |
| プロジェクト3<br>エピソードの紹介・<br>司会進行 | 3-1 エピソードの内容紹介の発表をする<br>3-2 ディスカッションの司会進行をする         |
| プロジェクト4<br>インタビュー            | 4-1 インタビューのビデオを見て分析する<br>4-2 インタビューを計画する・実施する・発表する   |

第4部は、読み物とは連動していない独立型のプロジェクトです。4つのプロジェクトは、学生主体で分析や調査、体験などを通して発見したことを報告・発表するといった自律学習としても活用できるように設計しており、それらに必要な表現や技能なども段階的に確認・練習できるようになっています。教育現場に合わせて、適宜授業に採り入れてください。

プロジェクト1「話し合い」、プロジェクト4「インタビュー」には、よい例・悪い例を示した短いビデオクリップが用意してあります。凡人社ウェブページ〈<https://www.bonjinsha.com/wp/careerplan>〉にありますので、ビデオ分析の際、アクセスしてお使いください。プロジェクト1「話し合い」は、第3課、第4課のコミュニケーションタスク「ディスカッション」と組み合わせてお使いいただけます。

プロジェクト2「敬語表現」では、基本的な敬語の体系と使い方を確認・練習し、さらに会話で用いられている敬語を自律的に観察して報告する課題が設けてあります。第5課コミュニケーションタスク「ロールプレイ:先生に相談する」、第6課コミュニケーションタスク「ロールプレイ:アルバイト先の上司に許可をもらう」、プロジェクト3「エピソードの紹介・司会進行」、プロジェクト4「インタビュー」などと組み合わせてお使いいただけます。

プロジェクト3「エピソードの紹介・司会進行」は、授業中に扱いきれなかった読み物教材（エピソード）の内容を学生が分担して紹介し、ディスカッションの司会進行をする活動になっています。授業時間の制限のなか、より多くのエピソードを読んで共有したい、あるいは学生の主体性を伸ばしたいという場合に、ぜひ活用してください。

また、プロジェクト4「インタビュー」は、周囲の方々を対象にインタビューを実施することで、本書に収められているエピソード以外のさまざまなキャリア形成のあり方に触れる機会となります。授業内でインタビューが実施できない場合でも、4-1のみ扱っていただき、将来、人に話を聞く際、上手な聞き手となるためにスキルを磨いておくことは有用であると思います。

各課のタスクについては、提出用シートを電子データでご提供しています。また、「教師用ヒント集（解答例付き）」もごございます。凡人社ウェブページ〈<https://www.bonjinsha.com/wp/careerplan>〉からダウンロードしてお使いください。

なお、学習者の自律的な学習や予習・復習に役立つ語彙リストと音声ファイルも用意しました。

巻末には、本書のエピソード、タスク作成のもととなった留学生のキャリア形成に関する研究についての参考文献リストを載せました。参考にしていただけましたら幸いです。

2022年11月

菅長理恵・中井陽子・渋谷博子・伊集院郁子